



～道営住宅とともに建設が進む野本町団地～

ことしの新しい市営住宅は、野本町に建設されます。四階建、二十四戸（三LDK）で十二月の完成を目指し着々と工事が進められています。野本町団地が完成すると、市内には十五団地、千三百十一戸の市営住宅が立ち並ぶこととなります。

野本町には 四階建市営住宅が

住みよい留萌をめざし

進む施設づくり

また、ことしの新しい市営住宅は野本町に建設され鉄筋四階建、二十四戸の大規模な市営住宅が誕生します。南町には、地域住民のコミュニティーセンター施設として「東部地区公民館」が十月末の完成を目ざし建設が進められています。では住みよい留萌づくりを目ざして進められている、主な施設工事の状況を拾ってみることにしましょう。

ことしも市では、舗装新設十路線一六二五キロをはじめ、下水溝整備や施設づくりに急ピッチで取り組んでいます。舗装関係では、今年度分の工事が完了すると、市街地舗装延長は二九、五六三キロ、全体の三六・二キロに達します。なお、市道の総延長は二四万九三七四キロ（市街地道路は八一、六〇〇キロ、残りは農村地区）で、今年度分の舗装工事が完了すると全延長の舗装率は十一・二になります。一方、施設づくりでは、年からスタートした「留萌市外二町衛生センター」と「大通り橋」が本年三か年の工事を終え、完成されることになりました。



～大通り橋建設工事、も急ピッチで進められています～

堀川町と五十嵐町を結ぶ 大通橋もつち音高く

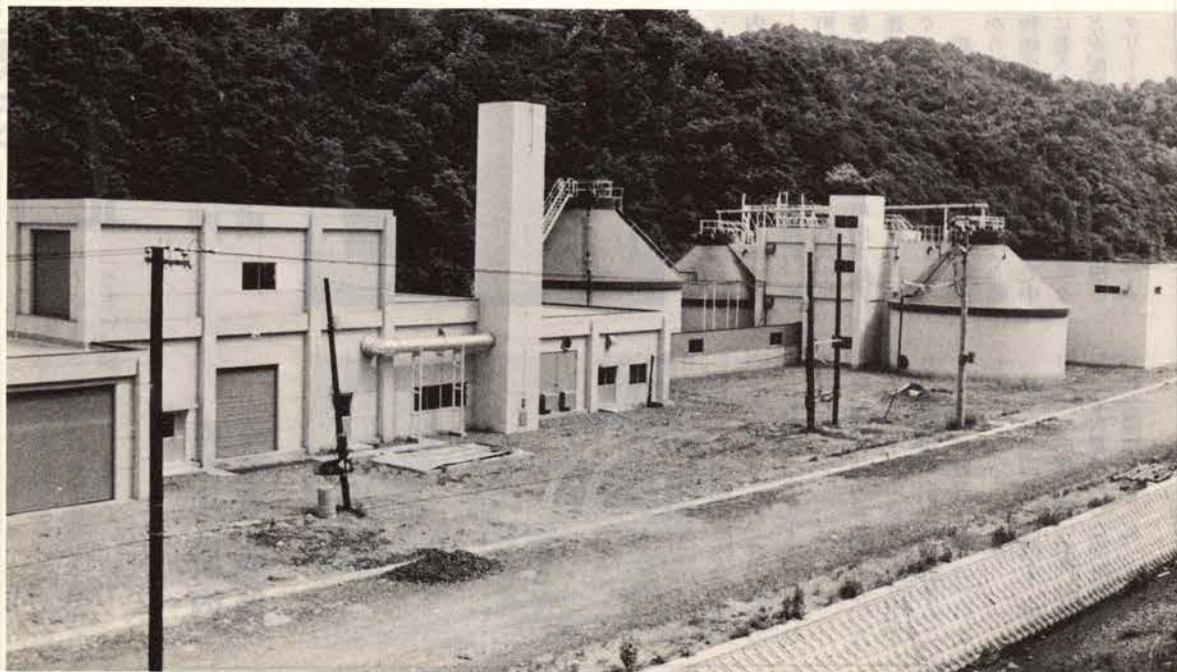
さる50年10月から3カ年計画で工事が進められていた大通り橋（五十嵐町と堀川町を結ぶ橋りょう）は、ことし11月完成を目途に、つち音高く建設されています。

大通橋は、老朽も激しくなったのと、年々堀川町も世帯が多くなり、近隣住民から生活橋として早くから改築が望まれていたものです。この橋は、鉄骨橋で、延長78.88メートル、幅7.5メートル（片側歩道1.5メートル、車道6メートル）の大きな橋で、総工費は約1億9,200万円です。完成されると堀川町や五十嵐町の生活橋としても、近隣住民の方々にも安心して渡れるものとして、早期完成が待たれています。

完成間近い市外2町衛生センター

昭和五十年八月から建設工事が進められていた「留萌市外二町衛生センター」は、ことし十一月の完成を目ざしほぼ外観を整えられました。この衛生センターは留萌市の施設の老朽化とともに、増毛、小平が野外投棄していたため、環境の汚染などを考慮して一市二町で地域環境をより守ろうと、去る四十八年十一月、留萌市外二町衛生センター組合（組合長原田栄一）を設立、建設計画を進めてきました。総面積約六千九百平方メートル、総額約十億円で建設されたこのセンターは、一日約四十立方メートルの処理能力があり、収容人口も約五万人となっています。また、投入槽に投入された生し尿は、約一カ月間滞留され、大腸菌や雑菌などは塩素滅菌され、清水と同じ状態で放流するもので、河川汚染には十分注意がはらわれています。

～外観も整えた衛生センター～

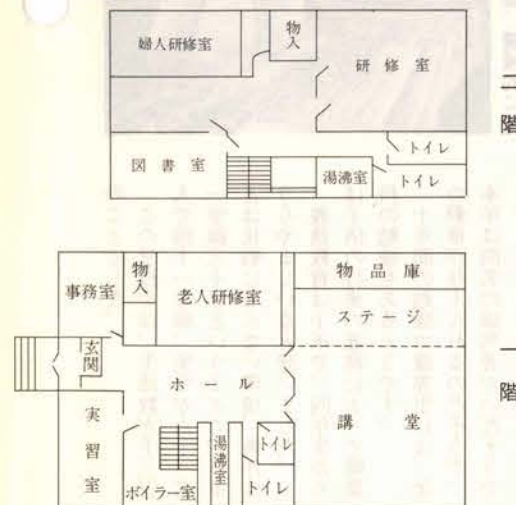


南町のコミュニティーセンターとして

東部地区公民館が誕生します

南町近隣住民の地域コミュニティーセンターとして、東部地区公民館が十月末の完成を目指し急ピッチで建設工事が進められています。建設場所は市内南町二丁目（南町農協から百メートル先）で鉄骨コンクリート造り二階建てです。建物の総面積は四〇五平方メートル（一階二七〇平方メートル、二階一三五平方メートル）で一階は、事務室、実習室、老人研修室、講堂などがあり二階には、婦人研修室、図書室、研修室、展示室などが配置されています。なお、一階の講堂は約百名が収容できる広いスペースがとられています。

東部地区公民館平面図



UHF局テレビサテライトも設置されます

留萌にもUHF局の設置を、と多くの市民から希望のあったUHF局テレビサテライトが十月一日の開局に向け、建設工事が進められています。今月二十一日頃からは試験電波を發し、市政施行三十周年記念日の十月一日から開局の予定です。



～10月1日開局予定のUHF局～